資料３

第１３回
東京臨海リサイクルパワー株式会社による
微量ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る地域環境委員会

平成２９年２月７日（火）

東京臨海リサイクルパワー株式会社

東京電力フュエル＆パワー株式会社

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

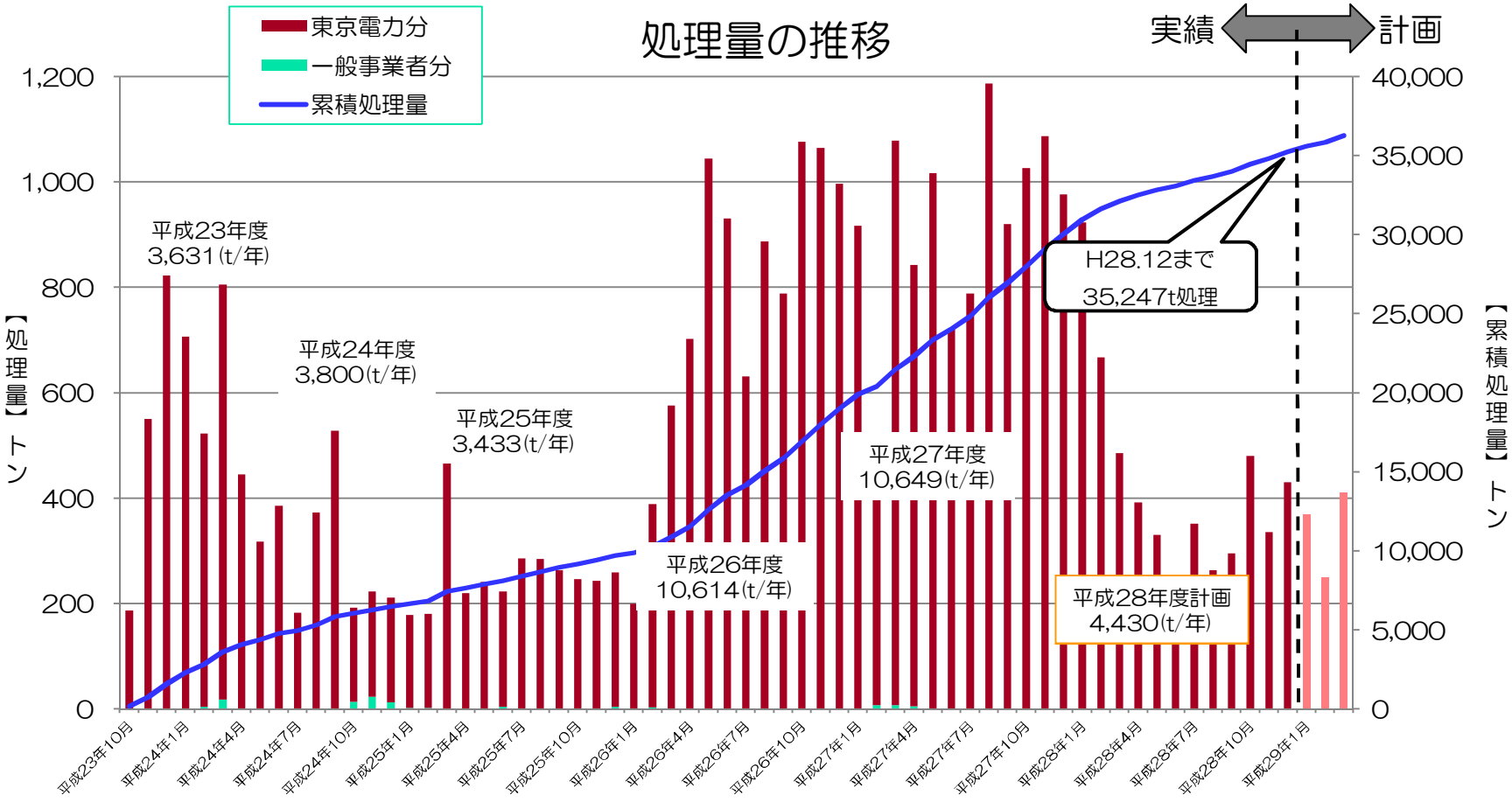
2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（1）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理実績と計画

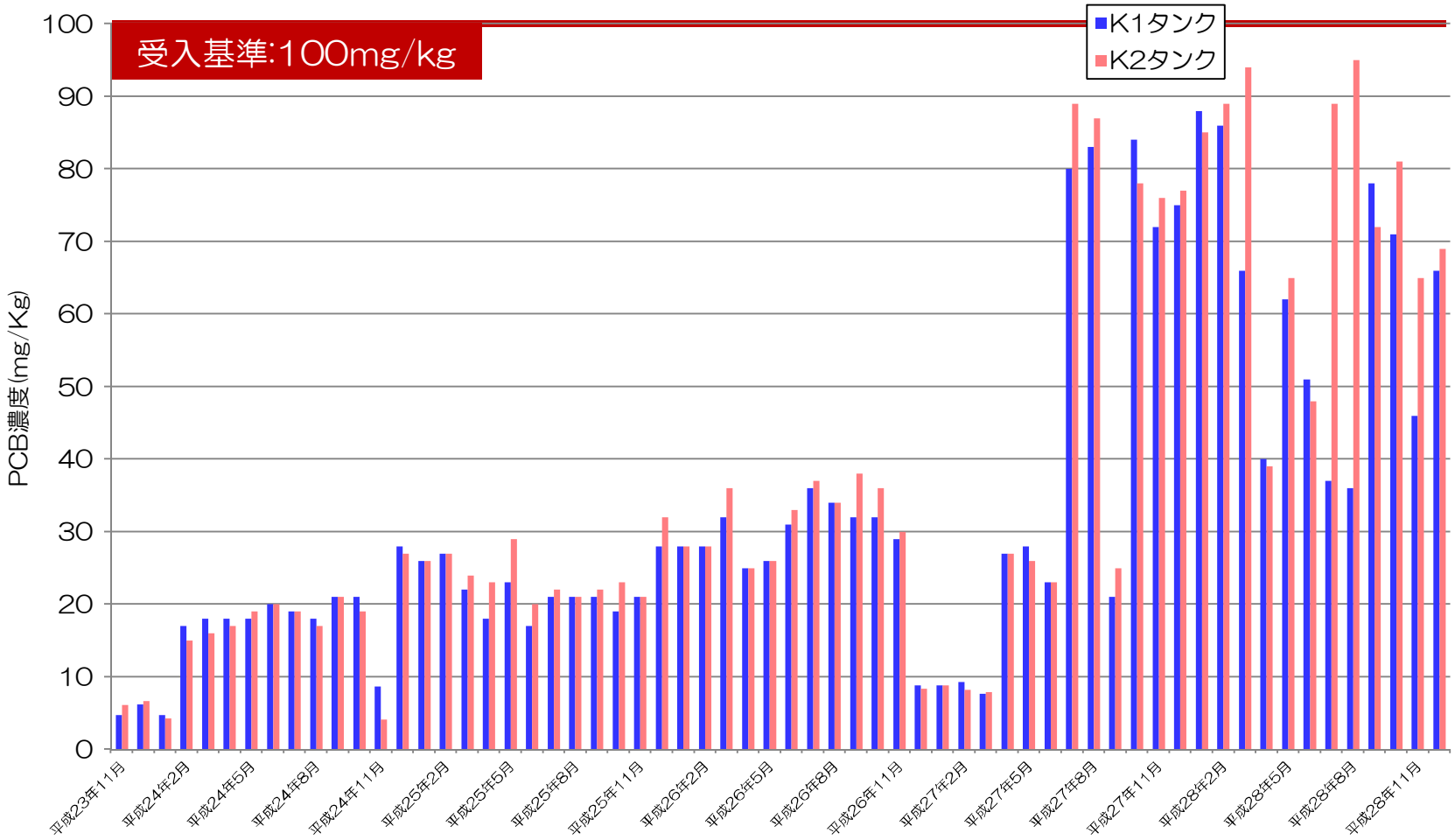
◆ 微量PCB汚染絶縁油は、確実な処理を継続実施中。



※平成28年12月末日現在

（2）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の濃度測定結果

- 微量PCB汚染絶縁油は敷地内の２基（K1、K2）のタンクに受入。
- 定期的（1回/月）に各タンクのPCB濃度を測定、受入基準以下を確認。



※平成28年12月末日現在

（3）平成29年度　微量ＰＣＢ汚染絶縁油処理計画

（1）処理計画量(トン)

平成２８年度	平成２９年度
4,430	4,430

※当社最大処理能力
年間約21,000トン

（2）平成29年度運転計画と処理計画

産業廃棄物焼却施設の定期点検停止時期と処理計画量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
産廃炉A系										定期点検			
産廃炉B系			定期点検										
PCB処理計画量(t)	384	400	193	401	406	383	414	383	399	317	336	414	4,430

※定期点検とは別に約1ヶ月毎に定例整備停止

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

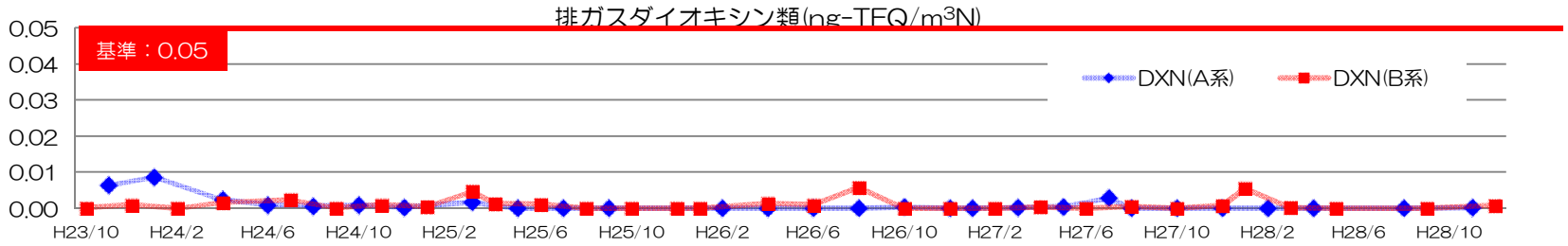
2 環境モニタリング状況

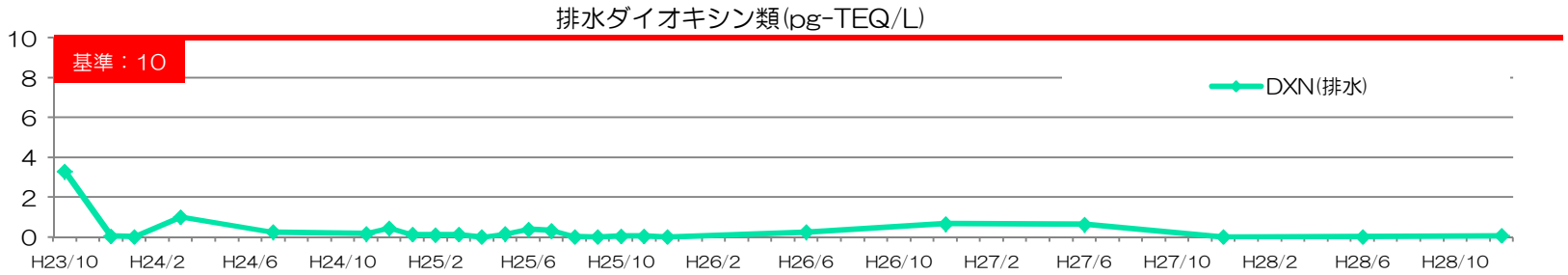
3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

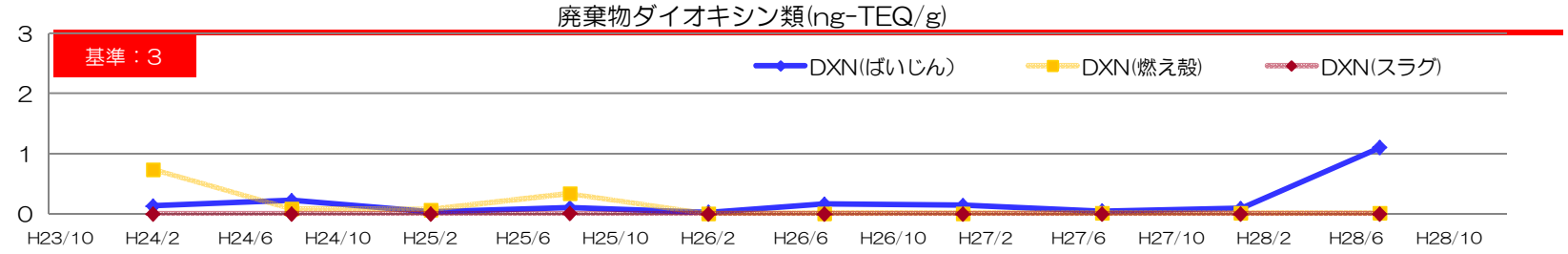
4 その他

（1）発生源モニタリング（ダイオキシン）

- 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のダイオキシン類測定を実施。
- 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。



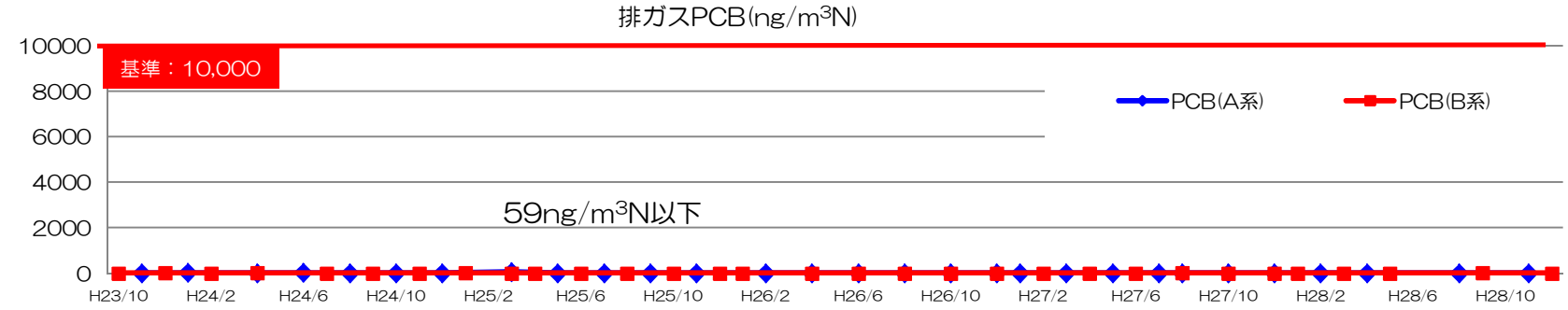


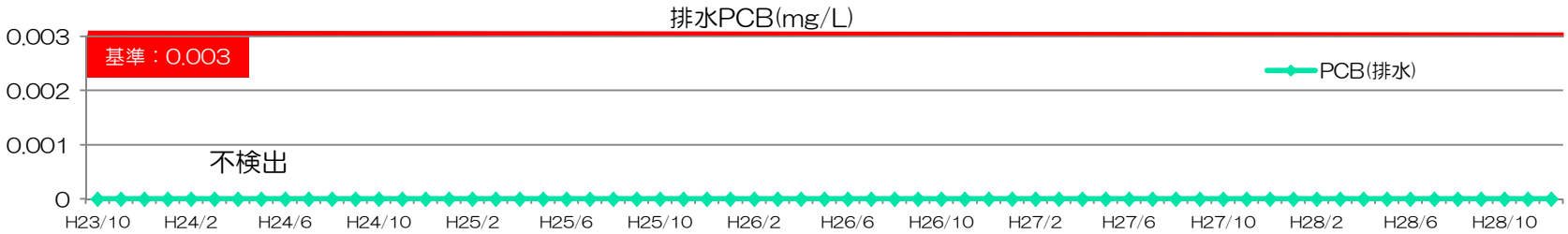


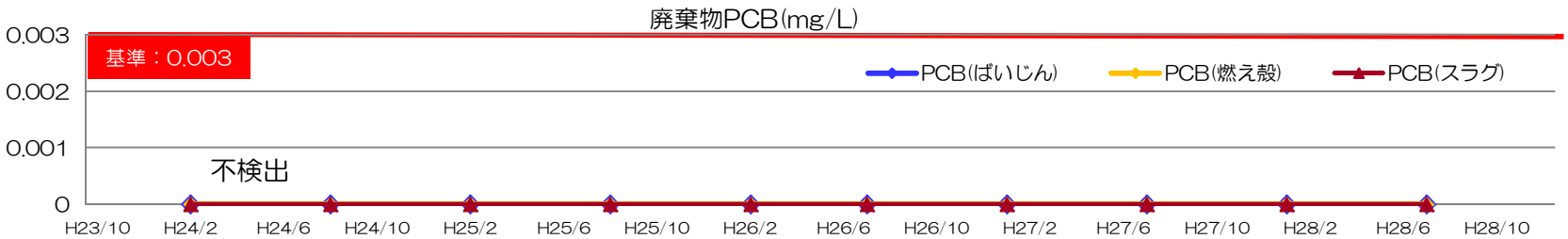
※平成28年12月末日現在

（1）発生源モニタリング（PCB）

- 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のPCB測定を実施。
- 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。

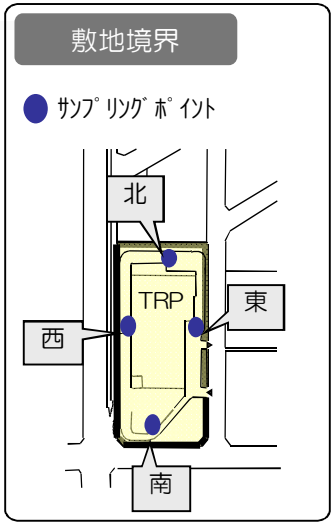






※平成28年12月末日現在

（2）敷地境界大気



- ◆ ＰＣＢ、ダイオキシン類濃度は全ての測定値で基準値を満足。
- ◆ 平成28年度より測定頻度を年3回に変更。

		測定月				年平均	基準値	測定頻度
		H27／11	H28／2	H28／5	H28／9			
PCB (ng/m^3)	東	0.140	0.140	0.290	0.180	0.188	500	3回／年
	西	0.220	0.140	0.310	0.220	0.223		
	南	0.081	0.130	0.260	0.180	0.163		
	北	0.290	0.150	0.470	0.250	0.290		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m^3)	東	0.016	0.050	0.029	0.018	0.028	年平均 0.6	3回／年
	西	0.085	0.034	0.055	0.091	0.066		
	南	0.020	0.029	0.032	0.034	0.029		
	北	0.033	0.050	0.067	0.019	0.042		

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（１）社内教育

◆ 社員（経営層、協力会社含む）の関係法令に関する理解度の向上、安全意識の高揚等を目的に定期的な教育を実施。

前回（第12回）の地域環境委員会以降の社内研修実績

実 施 日・頻度	内　　容	対　象
毎月1回	関係法令等の勉強会を実施 廃棄物処理法、下水道法、東京都環境確保条例等	経営層
随　時	入社時、新規入所時の安全・ダイオキシン・ＰＣＢ教育	新入社員 協力会社
平成28年7月14日 ・15日・21日	安全教育（関連グループ会社災害事例検討会）	メンテナンスG 協力会社
平成28年8月5日	安全教育（ヒヤリハット事例と安全対策について）	メンテナンスG
平成28年11月29日 ～12月6日（計4回）	安全教育（電気事故・消防教育について）	運転G・当直

※平成28年12月末日現在

（2）訓練（緊急時対応訓練）

◆ 微量PCB汚染絶縁油の漏洩等、緊急事態を想定した対応訓練を年2回実施。

【平成28年12月22日】『苛性ソーダ漏洩を想定した緊急時対応訓練』

◆薬品タンク室内での苛性ソーダの漏洩を想定。
◆当直運転員の初動対応、漏洩回収作業及び行政への通報等の訓練を実施。

漏洩発生箇所(ポンプ出口フランジ)

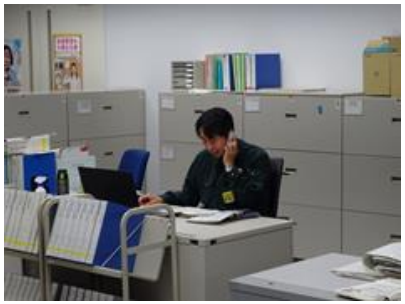
非常対策本部の設置

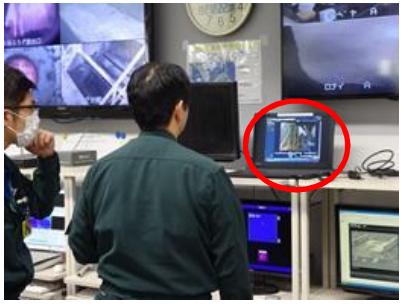
立入禁止措置

ポンプ電源「切」操作

除害作業（希釈・洗浄）

ガスケット取り換え作業


行政通報訓練


移動カメラからの現場情報

※次は平成29年上半期に訓練実施予定。

（3）災害等発生状況（１／２）

◆ 微量PCB汚染絶縁油処理に関する労働災害の発生はなし。

◆ TRPにおける労働災害は前回委員会（第１２回）以降、１件発生。

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
労働災害発生件数	5	4	0	4	0	3

※平成29年1月末日現在

◆平成28年度発生事象

平成28年

4月　社員災害（右手親指打撲（不休））
6月　請負社員災害（熱中症（不休））
} 前回委員会（第12回）報告済

平成29年

1月　請負社員災害（左肋骨亀裂骨折、左臀部打撲（休業１日））

（3）災害等発生状況（2／2）

H28年度災害発生状況(請負災害)

発生日時：平成29年1月8日（日）11：00頃

場所　　：３階積出しクレーン室

被災者　：委託先社員６４歳（男性）経験年数５年

症状　　：左肋骨亀裂骨折　左臀部打撲　（休業１日）

発生状況：積出しクレーン室内清掃作業中に作動したクレーンと接触し被災。

要因

- ✓ 当社からの作業中止連絡が請負会社内で伝わらなかった

対策

- ✓ 作業ミーティングを見直し、前日夕方ならびに当日朝にメンテナンスG・運転G・請負会社の3者で全ての作業内容を確認。
- ✓ 作業予定書の作業前確認必須項目（電源、蒸気ラインなど）を詳細化し、各作業毎に当社側で設定した上で、作業着手前にメンテナンスG・運転G・請負会社の３者で必ず確認。
- ✓ 全ての作業員に作業環境設定の重要性を再教育実施。

（4）設備不具合

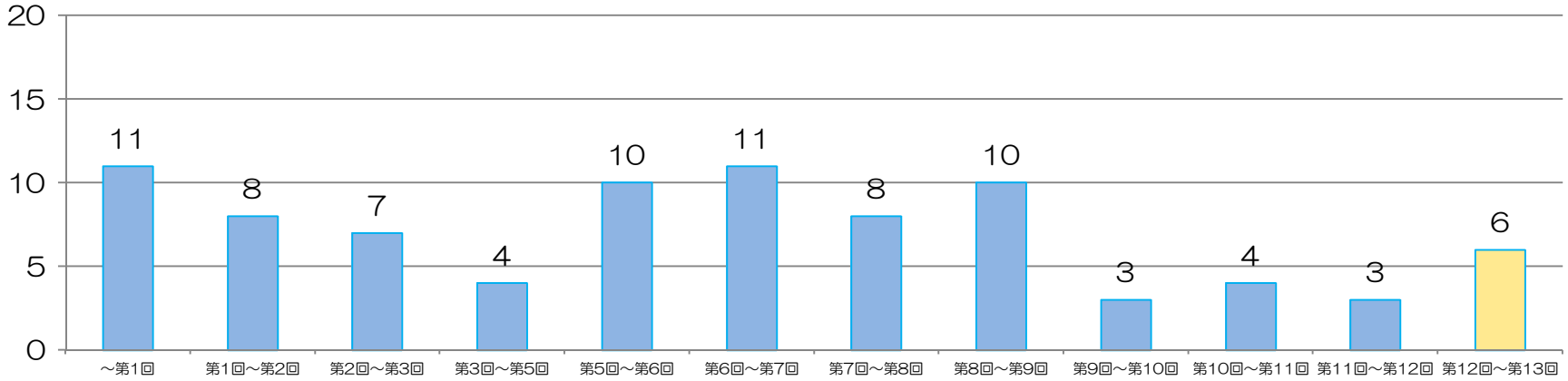
◆ 前回（第１２回）の地域環境委員会以降、微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合はなし。
◆ 微量PCB設備について、日常点検並びに定期点検（１回/年）を実施。

産業廃棄物焼却炉の微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合発生件数

期間	～第1回	第1回～第2回	第2回～第3回	第3回～第5回	第5回～第6回	第6回～第7回	第7回～第8回	第8回～第9回	第9回～第10回	第10回～第11回	第11回～第12回	第12回～第13回
発生件数	0	0	0	0	0	1※1	0	0	0	0	0	0

※1　平成25年12月19日　油サービスタンクからの滲み発生。（第7回委員会にて報告）

【参考】産業廃棄物焼却炉のトラブルによる設備停止回数



注）第4回は臨時開催のため除外

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

トピック

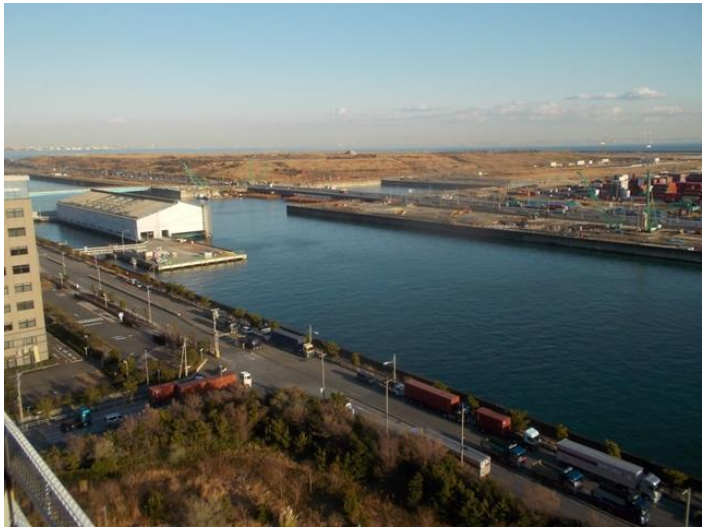
（１）ご視察

★平成28年９月９日（金）

江東区インターンシップ学生2名（環境関連企業訪問）

★平成28年11月15日（火）

環境省政務官　井林辰徳議員（低濃度PCB処理状況視察）

（２）オリンピック関連

弊社前のボート・カヌー競技場周辺での工事が始まっています。